

交流のアルバム



平成26年 北上市・石垣市友好都市提携締結式



平成26年 石垣牛まつり
北上翔南高校が出演



平成26、31年 石垣島マラソン



平成31年 友好都市提携5周年記念式



平成30年 石垣市消防団との交流



平成29年 北上・みちのく芸能まつり
八重山高校郷土芸能部出演



平成29年 石垣市の中学生と
和賀西中学校の交流



令和元年 石垣島まつり
北上産リンゴなどの物産販売



令和4年 北上・みちのく芸能まつり
石垣市芸能団体が旗頭を披露



令和5年 友好都市締結10周年記念式典

2023ランフェスきたかみ

ランフェスきたかみは10月8日、北上総合運動公園などで行われ、石垣市から4人のランナーが参加したほか、石垣市芸能団がT.M.さくら野南側広場(まちなか会場)で民俗舞踊を披露しました。



ハーフの部のスタート



石垣市芸能団の舞踊

市職員人事交流

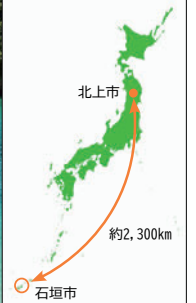
9月19日から10月13日までの約1カ月間、環境政策やランフェスきたかみなどに従事しました。

「ランフェスの街中のにぎわいと一体感の創出方法は、大きな学びです。北上市で学んだことを石垣市の職員に波及させて、市民に還元していきたい」と語りました。 ※当市からは10月23日から11月22日まで、職員1人を石垣市に派遣する予定です。



石垣市からの派遣職員
田本 竜大 さん

北上市・石垣市 友好都市締結10年の歩み



友好都市締結の経緯

平成5年に岩手県が大冷害に見舞われ、種もみの確保が難しくなり、北上市出身の故高橋洋介氏(当時の県農政部長、元県副知事)が中心となって、沖縄県石垣市に種もみ増殖事業を依頼しました。

同事業を契機に「かけはし交流」が始まり、岩手県と沖縄県は農業やマラソン、物産など多方面で交流を拡大。当市と石垣市は平成14年度からマラソン大会への選手団の相互派遣などを継続的に行い、平成25年度には20周年の節目として、両市に記念碑が建てられました。

両市は平成26年1月25日、産業・スポーツ・教育文化など幅広い分野での連携・交流を促進するとともに、互いの繁栄と発展につなげるため、友好都市提携を締結しました。



平成25年 岩手・沖縄かけはし交流発祥の地
記念碑建立記念式典【北上市】



平成25年 高橋洋介顕彰碑建立・菅原邦典
顕彰碑移設除幕式典【石垣市】
(故菅原邦典氏は当時、石垣島に派遣され水稲栽培の指導を行った県職員)

友好都市締結から10年を迎えて

北上市 八重樫 浩文 市長

平成26年1月に友好都市提携を締結して以来、マラソン大会への選手団の相互派遣、八重山高校郷土芸能部と北上翔南高校鬼剣舞部の伝統芸能の相互公演から、両市の中学生、消防団、農業委員会、職員の人事交流まで多岐にわたった交流が続けられ、より一層関係を深めてきました。また、昨年の第61回北上・みちのく芸能まつりでは、石垣市芸能団体の皆さんを招待し、旗頭をご公演いただき、大いにまつりを盛り上げていただきました。

今後とも官民を交えたあらゆる分野において交流を深めてまいりたいと思います。

石垣市 中山 義隆 市長



友好都市締結10周年記念式典
(左)八重樫市長(右)中山市長

この10年間で両市民の相互交流や行政、議会などの交流を行い絆を深めてまいりました。教育交流や伝統芸能の交流など次世代を担う生徒たちの交流も行われ、これらは今後両市が絆を深めていくための種もみになると考えています。やがてその種もみが芽吹き、力強く成長し、たわわに実ることを期待しています。

石垣市と北上市は、距離として約2,300km離れており、気候や風土も大きく異なります。この違いがあるからこそ、交流を通じて新たな気付きが生まれ、豊かな想像力や適応力を育み、両市の発展に大きく寄与すると確信しています。